

2013年4月 新入生オリエンテーション 学部長挨拶

新入生の皆さん入学おめでとうございます。学部長の西原です。昨日はウェブ履修登録だったようですが、うまくできたでしょうか。昨日の履修登録が、ある意味で大学生活を象徴しています。大学と言うところは、自由度が高く、自分のことは自分で決める場所です。履修科目もそうですし、生活の仕方、授業の出席、試験勉強のしかたなど、すべて自分で決めることができます。しかし、決めたことについては、自分自身が責任を採らなくてははいけません。結果は全て自分1人が背負うこととなります。つまり、自己管理と自己責任が大学生活のキーワードです。

自己管理によって、「きちんとした人」になってください。つまらないことを言っているように聞こえるかもしれませんが、「きちんとした人」であることは、皆さんがこれから人として自立していくために大変重要なことです。

例えば、それは就職活動をするときにものをいいます。この大学を卒業した後、皆さんは社会人として働くこととなりますが、そのためには就職活動を行って企業に採用してもらわなければなりません。

どのような人が採用されるかと言いますと、簡単に言えば仕事がまかせられる人です。それは要するに「きちんとしている人」です。約束を守る、すべきことをする、そのような1つ1つのことがきちんとしている人が仕事の任せられる人であり、採用される人です。企業の人事の人達は、この点をしっかりチェックします。自己管理と自己責任の生活を通して、きちんとした人になって欲しいと思います。

これから4年間という長い大学生活が始まります。この4年間を通して、ぜひ人間的な魅力を磨いてください。ユニークな人間になることを目指しましょう。いろいろなことを体験し、他人のやらないことをあえてやってみて、あの人は面白い、ユニークだと言われるようになってください。

よく、学生の中に最低限これだけやっておけばいいという考え方をする人がいますが、それではだめです。つねに新しいことにチャレンジし、いろいろ試し、身に付きそうなことはなんでもやってみよう、色んな人と出会って話をしよう、何でも見てやろう、といった積極的な気持ちを持ち続けてください。

皆さんの将来は、いま、皆さんの手の中にあります。これからの4年間、大いに学び、大いに楽しんで、きちんとした人、ユニークな魅力的な人となってこの大学を卒業してほしいと思います。